

他都道府県におけるNPO等支援基金活用例

基金名	運営形態	設置年月	基金額 (県出資額)	用途	備考
公益信託うつくしま基金 (福島県)	公益信託 (取崩型)	H15.3	12億円	<ul style="list-style-type: none"> ・スタートアップコース：上限10万円 ・発展事業コース：上限100万円 ・自治体との協働コース：上限1000万円 (助成額は年間7千5百万円程度) 	「うつくしま未来博成果継承基金」が原資 委託者：福島県 受託者：三菱UFJ信託銀行 (信託代理店：東邦銀行)
かながわボランティア活動推進基金21 (神奈川県)	条例 (果実運用型)	H13.4	100億円	<ul style="list-style-type: none"> ・県とボランティア団体等が協働して行う事業 (団体から事業を募集の上、決定)への負担 ：1件1000万円以下(18年度総額7千300万円) ・ボランティア団体等への助成：上限200万円 (18年度1500万円) ・団体等の表彰(賞金：団体100万円、個人50万円) 	
ひょうごボランティア基金 (兵庫県)	社協運営 (果実運用型)	S50.4 (H14.4)	98億円	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動助成：上限3万円 ・学生ボランティア活動助成(学生を主体とした団体に対する助成)：上限5～10万円 ・立上げ支援助成：上限30万円 ・チャレンジ事業助成(先進的事業)：上限50～100万円 ・NPOパワーアップ事業助成(NPOの情報公開、広報活動等に関する事業の助成)：上限5万円 ・インターン事業助成(法人等職員の派遣研修) ：国内上限15万円、海外上限30万円 ・行政・NPO協働事業助成(NPO提案型)3年計画 上限：30～100万円 ・行政・NPO協働事業助成(行政提案型) ：上限30万円 ・企業・NPO協働奨励事業：上限30～50万円 ・中間支援活動助成(中間支援団体の助成) ：上限100万円 ・NPO活動応援貸付：貸付額50～300万円(利息1.5%) (助成額は年間1億4千万円程度) 	基金の果実により、児童福祉、高齢者福祉、障害者福祉事業も実施